

Q&A :Zoom 関連事項

※ Zoom のライセンス (KU license) に関する質問はPandA関連のQ&Aにありますのでそちらを参照ください。こちらでは、Zoomの機能・使用法などに関連するQ&Aをまとめてあります

- [Q1.Zoomの設定にあるrecurring meetingとは？](#)
- [Q2. Zoomの設定にあるregistration requiredとはどのような機能でしょうか？](#)
- [Q3. Zoom bombingとは何でしょうか？](#)
- [Q4. Zoomの録画設定で、クラウドとローカルの選択のうち後者しか見えない](#)
- [Q5. 講義の出席者を確認したい](#)
- [Q6. 音声がきちんと聞こえているかどのように確認したら良いか？](#)
- [Q7. 教員の画面ではなく、学生の画面を共有するにはどうすればよいか？](#)
- [Q8. 画面共有などのセキュリティの設定を変更するにはどうすればよいか？](#)
- [Q9. Zoomの見え方は学生も教員も同じか？](#)
- [Q10. iPadの画面をZoomで共有するにはどうすればいいですか？また、注意点を教えてください](#)
- [Q11. iPadでZoomの画面を録画するにはどうすればいいですか？](#)
- [Q12. Zoomのクラウド録画機能を使うにあたって注意すべきことを教えてください.](#)
- [Q.13 Zoomでの講義視聴にはどのくらいのデータ量が必要ですか？](#)
- [Q14. Zoomの講義をスマートフォンで視聴することはできますか？](#)
- [Q15. Zoomで共有している画面が分からなくなります.](#)

Q1. Zoomの設定にあるrecurring meetingとは何でしょうか？利用してもよいのでしょうか？

毎週など、定期的にZoomのmeetingを登録する機能です。講義の予定を入れる際にrecurring meetingにすると毎週の講義を一度にまとめて登録でき便利なのですが、第三者が講義中一度でもmeeting IDやパスワードを知ってしまうと、それ以降の講義すべてに不正に参加できてしまい、セキュリティ上の問題があるため、多少面倒でも講義は各回個別に設定する方が良いです。

Q2. Zoomの設定にあるregistration requiredとはどのような機能でしょうか？

A. Zoom自身の機能で会議参加者に事前登録を要求するというものです。学生がPandA経由でアクセスする際はオンにしても特に問題はありません。一般に、PandA経由での講義配信の場合にはZoomの細かい設定を気にする必要がなくなります。

Q3. Zoom bombingとは何でしょうか？

A. パスワード設定や認証設定のない会議にID情報のみで侵入され、参加者の画面共有やチャットを利用して悪質なコンテンツが共有されるというものです。ID情報のみで入りやすいZoomの仕様の問題ですが、適切な設定や会議運営により危険性はかなり減らせます。現在、ニュースやSNS等で取り沙汰されているZoomの脆弱性と危険性に関しては今後も情報をアップデートしていく予定です。参考: Zoomを安全に利用する4つのポイント

<https://news.yahoo.co.jp/byline/ohmototakashi/20200406-00171691/>

Q4. Zoomの録画設定で、クラウドとローカルの選択のうち後者しか見えない

A. Zoomライセンス更新されず（KULicenseになっておらず）古いままの可能性あります。ライセンスの更新をして下さい。

Q5. 講義の出席者を確認したい

A. Zoom自身に参加者名簿を生成する機能は現在のところありません。参加者リストのキャプチャを取り、あとで確認するという方法があります。ただし、その際には参加者の表示名を実名にしておらなければならないので、学生への周知が必要です。参考 https://zoomy.info/attend_or_absent/

Q6. 音声がきちんと聞こえているかどのように確認したら良いか？

A. 参加者のマイクアイコンで参加者のマイクのON/OFF状態を確認できます。講師の声が学生に聞こえているかどうかは、学生に「手を挙げる」機能で手を上げてもらうことで確認ができます。

Q7. 教員の画面ではなく、学生の画面を共有するにはどうすればよいか？

A. 事前に教員(ホスト)側で画面共有の許可を出しておいて、学生側で共有操作を行なってもらうことで学生の画面を共有することができます。

Q8. 画面共有などのセキュリティの設定を変更するにはどうすればよいか？

A. PCの最新版ではホストには下に「セキュリティ」というアイコンが出るようになっています。そこから随時いつ用に応じてセキュリティ関係の設定変更が出来ます。

Q9. Zoomの見え方は学生も教員も同じか？

A. Zoomの各自のPCなどでの見え方は環境によって異なります。ですので、特的種類の機器に依存した指示は出さない方が良いでしょう。例えばiPadのアプリではUIがPCと少し違って、参加者リストの下に「手を上げる」ボタンはなく、自分の名前をクリックすると(or左側の詳細から)ボタンが現れるようになっています。(従って、リスト下のボタンを押して下さいと言っても環境によって見えない可能性があります)

Q10. iPadの画面をZoomで共有するにはどうすればいいですか？ また、注意点を教えてください。

A. 以下に方法を示します。

1. Zoomアプリのメニューから「共有」を選ぶ。
2. 共有したいコンテンツ一覧が出るので「画面」を選ぶ。
3. 「画面のブロードキャスト」というポップアップが出るので「ブロードキャストを開始」を選ぶ。
4. カウントダウンの後で画面共有が開始される。
5. その後、好きなノートアプリ(GoodNotes5やOneNoteなど)に移動して授業を行う。

この方法の場合、iPadの画面がそのまま共有されることに注意してください。縦長の画面は縮小されて文字が見にくくなる場合がありますので、iPadは横置きに使うとよいでしょう。iPadの画面に受講者と共有したくない情報(メール・連絡先・通知・インストールされているアプリ一覧など)が映らないよう注意してください。あらかじめiOSの通知を切っておくことをお勧めします。

Q11. iPadでZoomの画面を録画するにはどうすればいいですか？

A. iPadのZoomアプリではクラウドに録画することができます。(なお、iPadに直接録画することはできません。) Zoomアプリ画面右上の「詳細」をクリックします。メニューの「クラウドにレコーディング」をタップして録画を開始できます。Zoom ウェブサイトにサインインして、メニューから「記録」を選ぶことで録画した動画を確認・ダウンロードすることができます。クラウドに録画する場合は保存可能な容量に注意してください。

Q12. Zoomのクラウド録画機能を使うにあたって注意すべきことを教えてください。

A. クラウドに保存可能な容量に注意してください。授業1コマ(90分)の授業を録画した場合の動画ファイルは約300-400MBになります。4月13日現在のKU License (サイトライセンスデモライセンス)ではクラウド録画の利用は制限されています。まもなく、ライセンスが正式なサイトライセンスに移行して1GBまでの利用が可能なる予定です。1回の授業が終わるごとに動画ファイルをPCにダウンロードしてクラウド領域を空けるなどの対応が必要です。

Q.13 Zoomでの講義視聴にはどのくらいのデータ量が必要ですか？

A. オンライン講義の通信量については

<https://scrapbox.io/utdh/%E3%82%AA%E3%83%B3%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%B3%E8%AC%9B%E7%BE%A9%E3%81%AE%E9%80%9A%E4%BF%A1%E9%87%8F>をご覧ください。動画内容にもよりますが、90分の講義で400-600MBが目安になるようです。

Q14. Zoomの講義をスマートフォンで視聴することはできますか？

A. 技術的には可能です。ただし、スマートフォンは画面が小さいため文字が読みにくくなる可能性があることに注意してください。また、通常のスマートフォンの契約では一ヶ月あたりのデータ通信量に制限があるため、講義の視聴にスマートフォンを恒常的に用いるのは現実的ではないと思われます。

Q15. Zoomで共有している画面が分からなくなります。

A. デバイスによって状況が異なります。たとえばiPadだと全画面共有しかできません。PC版のZoomアプリの場合、共有されているウィンドウが緑の枠で示されるので、緑の枠を確認するといいでしょ。ただし、一番前のウィンドウが共有されているとは限らないので、複数のウィンドウを開いている場合は注意が必要です。また全画面表示すると緑の枠が見えなくなるようです。受講者側の表示を確認する方法として、複数のPCやタブレットを用いて別アカウントでもログインして授業を行うという方法もあります。